



ブラウンバックセミナー
Brown Bag Seminar

2021.6.30 (水)

日
同時通訳
英

**オンライン
(Zoom)**
技術支援
九州大学 Q-AOS & TEMDEC
録画期間限定公開

12:10
↓
12:50

12:10-12:15 紹介
12:15-12:40 プレゼン
12:40-12:50 質疑応答

九州大学災害復興支援団の活動について

司会：田中 俊徳 准教授 (Q-AOS 研究推進コーディネーター)

平成 29 年 (2017 年) 7 月，九州北部の朝倉・東峰村を襲った平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害は、地域に甚大なる被害をもたらしました。この災害を契機に九州大学内の研究者約 50 名からなる「九州大学平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害調査・復旧・復興支援団 (九州大学災害復興支援団)」を結成しました。九州大学災害復興支援団では、災害の応急対応時から復興に至る現在まで、様々な活動を行ってきました。今回は、この九州大学災害復興支援団がどうやって設立されたのか、具体的にどのような活動を行ってきたのか、そして、現在どのような活動を行っているのか、などについて紹介します。



三谷 泰浩 教授

九州大学 工学研究院 附属アジア防災研究センター

九州大学土木工学専攻修士課程修了後、民間の建設会社に勤務。1997年から九州大学に着任。2013年よりアジア防災研究センター教授。環境や防災に関する問題に対して、土木工学をベースとして、様々な分野の知識を統合し、問題に関わる各種要因の相関性を空間・時間的にどのように人間に関わっているかをひもとくことが重要であるとの立場から、問題となる事象を評価、分析するために、地理空間情報、地理情報システム (GIS) を環境問題、防災などの分野に適用した研究を行っています。

「災害」
「防災」
「減災」
「復旧」
「復興」

Key Words



登録はこちらから

https://temdec-med-kyushu-u-ac.jp.zoom.us/webinar/register/WN_EE-z2GiiR-ib97VbZN2m9g